

西岡見聞録

6月の西岡公園見どころは!?

初夏を迎える西岡公園では、動植物が活気づいていることを感じずにはいられません。散策していると林床には、花も葉も同じ色をしているためうっかり見落としてしまう「ツクバネソウ」や大ぶりの葉に小ぶりの花をつける「フタリシズカ」、色素を持たず、透明感のあるその姿が神秘的な「ギンリョウソウ」など、見つけて欲しい植物がいっぱいです。さらにイチヤクソウの仲間を何種類見つけられるか、挑戦してみたいかがでしょう。6月中は次々と咲く花たちを楽しめます。

そしてトンボたちも活動の季節を迎えます！橙色の羽を持つニホンカワトンボの美しい姿は、木道付近でよく見られます。園内を散策する際は、ぜひ見聞録を片手にどうぞ♪

【西岡公園で6月に見られる野鳥たち】

(日本野鳥の会 2016.6.5 札幌支部 HP より)

- | | | |
|-----------|------------|------------|
| ・ マガモ | ・ ハシストガラ | ・ キビタキ |
| ・ カイツフリ | ・ ヒガラ | ・ オオルリ |
| ・ キジバト | ・ シジュウカラ | ・ ニュウナイスズメ |
| ・ カワセミ | ・ ヒヨドリ | ・ スズメ |
| ・ コゲラ | ・ ヤスサメ | ・ ハクセキレイ |
| ・ アカゲラ | ・ オオムシクイ | ・ カワラヒワ |
| ・ ハシストガラス | ・ センダイムシクイ | ・ アオジ |

【目立たない植物】

ツクバネソウとクルマバツクバネソウ

花は葉とほぼ同じ色の淡黄緑色です。

実が黒くなると「羽子板の羽根」に似ています。

↓ツクバネソウ



ツクバネソウは葉が通常4枚
クルマバツクバネソウは
6～8枚で雄しべの先が
長く伸びている
「やく隔」が特徴的。

←クルマバツクバネソウ



自由広場

見晴台

水源池では
マガモやカイツフリの
親子が見られるかも!?

水源池

取水塔

パーゴラ
広場

花木
広場

管理事務所

ジンヨウイチヤクソウは葉の形が腎円形
(腎臓のような形)で、基部が深い心形に
なるのが特徴的。イチヤクソウの葉は楕円形。



み



ジンヨウイチヤクソウ



↑イチヤクソウ

【ニホンカワトンボ】

5月の下旬頃、木道ではモイワサナエや
橙色の羽をしたニホンカワトンボの姿が
見られます。一度見たら忘れられない
ほど美しい羽の色をしています!!



美しい橙色の羽を
持つのはオスのトンボです。

【6月に見られる植物】

フタリシズカ・ギンリョウソウ
ジンヨウイチヤクソウ・ミソホオズキ
ミヤマナルコユリ・サイハイラン
コケイランなど

木道

ギンリョウソウ→
散策路の腐葉土の中から
よきとそその姿が見えます。



【ギンリョウソウ】

「銀竜草」と書きますが、竜というより馬の顔に
似ています。葉緑素が無く、根菌から栄養を得ているので
真っ白な色をしています。薄暗い林床で見かけるその姿
から別名「ユウレイタケ」と呼ばれます。

ヒトツバイチャクソウ→

【イチヤクソウの仲間】

ヒトツバイチャクソウは花枝が赤く、
葉は無いものや1～2枚しか付けない。
コイチヤクソウは花序の片側のみ花を付けます。
ウメガサソウやギンリョウソウも
イチヤクソウの仲間です。

コイチヤクソウ↑

